

2024年8月6日

兼松ペトロ株式会社  
低炭素推進室

名古屋港での内航船舶向けバイオディーゼル燃料の混合燃焼試験の再開、  
および東京港での試験航行開始について

当社は、2024年6月28日から名古屋港での内航船舶向けバイオディーゼル燃料の混合燃焼試験を再開し、2024年7月17日より新たに東京港にて試験航行を開始しました。

当社では、名古屋港において2022年11月から約1年にわたって、当社専用の燃料配給船「ニューウェーブ」（東海タンカー株式会社）の燃料をA重油に5%のバイオ燃料を混合した「B5A重油」に切り替えて混合燃焼試験を行ってきました。

この混合燃焼試験によって、燃費性や安全性などに問題がないことが確認できましたので、「ニューウェーブ」では今後、バイオ燃料の混合比率を最大24%まで高める計画であり、既に7月時点で10%まで高めています。

また、東京湾での試験航行では、当社専用の燃料配給船「第18甲子丸」（近海タンカー株式会社）の燃料を「B5A重油」に切り替えて試験航行を行っています。東京湾での受け渡しについては、陸上の大型タンクローリーから海上の燃料配給船「第18甲子丸」まで給油ホースを繋いで給油するという、事例の少ない方法で行っています。



「ニューウェーブ」、「第 18 甲子丸」ともに使用するバイオ燃料は、原料も含めて純国産で且つ高品質な FAME（脂肪酸メチルエステル）を調達し、両船のエンジン供給メーカーや日本海事協会からアドバイスを受けながら、航行中のエンジン回転数や音、匂いなどの具体的な項目を調査しています。

バイオ燃料は、大きな設備投資を行わずに CO<sup>2</sup>削減を実施できる有効な手段です。当社は船舶向けのみならず、工場や建機、バスなどへ供給網を広げることで、燃料の低炭素化への中長期的な貢献を目指します。

**【お問い合わせ先】**

兼松ペトロ株式会社

低炭素化推進室 電話：03-5289-0471

URL：<https://www.kanematsu-oilgas.co.jp/>